

粒剤散布装置

1キ口剤



☑ 認定基準の散布性能

☑ 細かい流量調整も可能

☑ タンクが簡単に分解できる

粒剤散布でも高い散布性能を実現するために開発をはじめ、薬剤の流れや勢い、1分間に吐出する規定量など様々な視点から研究し、より均等に散布する装置が完成しました。認定機と同じ性能で、タンクの蓋を開ければ簡単に薬剤の補充を行うことができバッテリーも上に乗せるだけ！吐出量やシャッターの開閉は送信機で操作できます。また大幅な改善を行い、詰まりなどのトラブルが減少しています。

従来型 回転盤前方吐出口



構造上左右にバラツキが発生

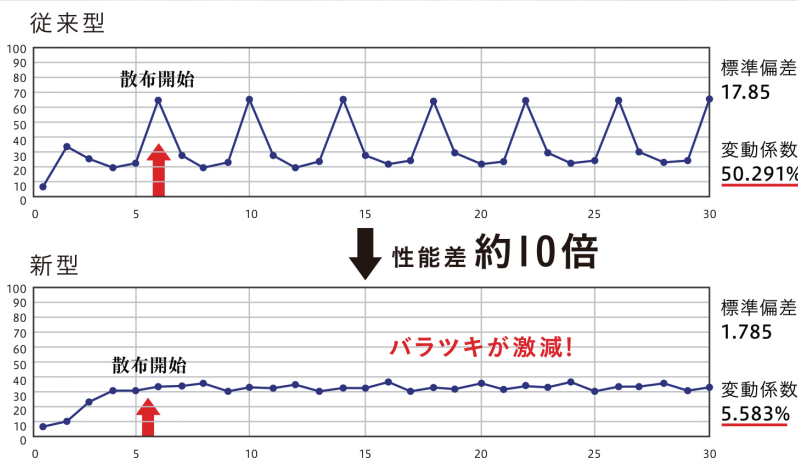
新型散布装置 真下に散布・真横に散布



散布幅4m内を均一・均等に散布

より均一に・・・より効果的に・・・

前方に吐出口があると前後進で散布のバラツキが発生したり、右側と左側の散布量が一定にならないなど様々な問題がありました。新開発の粒剤散布装置は吐出口は下向きに設計し、前後進でも均等に散布できます。また粒の流動を研究したことで、右端と左端の散布量の差も少なく散布品質が大きく向上しました。均一・均等に散布することで、圃場全体に薬剤を均等に散布できます。



清掃が簡単に!



散布装置とタンクの接合部分は工具を使うことなく分解できます。散布後の清掃も簡単になり、いつでも清潔な散布装置をご利用頂けます。

肥料・豆つぶ散布装置

新製品

2021年春販売予定

マゼックスが開発した肥料・豆つぶ散布装置は、従来の粒剤散布装置では散布できなかった肥料、種、豆つぶなどが散布できます。使いやすさはもちろん、多種多様な肥料に対応するために攪拌構造によりタンク内で詰まらないように考えられています。この装置の駆動は機体バッテリーを使用し、消費電力を最小限にします。粒剤散布装置との大きな違いは【1分間で大量の粒を吐出できる】ことです。手元の送信機でシャッター開度を調整できるので、散布量に合わせて細かい調整が可能です。2020年に実際の農家さんに使って頂き、改良を行った製品です。



ブリッジの発生を抑制する攪拌棒



タンク内には、肥料のブリッジによる詰まり(吐出できない状態)を防止する攪拌棒を備えています。この攪拌棒は肥料の形状が崩れない回転数で設定されており、攪拌棒付近の肥料はタンク内でかき回されるように循環します。そうすることで、様々な大きさの肥料や豆つぶを詰まらせることなく均一量で散布できます。

調整可能なインペラー

肥料・豆つぶの形状や質量、吐出量により散布幅が異なる場合があります。そんな時は散布装置の横面にあるスイッチを回すとインペラーの回転数を微調整することが可能です。もしインペラーの間で肥料が詰まってしまうと装置が壊れてしまいます。この散布装置は故障防止機能を備えているので、インペラーに負荷がかかると強制停止するように働き、故障を防ぎます。



どんな肥料を散布できるの?

全ての肥料や豆つぶなどを確認できているわけではありませんが、マゼックスで吐出試験したものや、販売店や実際の農家さんにお使い頂いた種類などをホームページに掲載していますのでそちらをご覧ください。Webで【検索:マゼックス】を調べて頂くか、QRコードをスマホで読み取ってください。



粒剤散布装置とは何が違うの?

粒剤散布装置では少量の薬剤を高いレベルで均等に散布することを基準にしています。その一方で肥料・豆つぶ散布装置は10aあたりに大量の薬剤や肥料などを散布することを想定して開発した製品です。そのため、粒剤散布装置では使用できなかった薬剤や肥料が使えるようになりました。※1キ口剤などの均一散布が求められる薬剤などは、肥料・豆つぶ散布装置を使用して散布しないでください。